

ふりがな 氏 名	まつい かずひさ 松井 一久		職 名	准教授
取得学位	博士（リハビリテーション療法学） 修士（理学療法学）（リサーチコース） 修士（Master of manual and sports physiotherapy）（コースワーク）	学会での受賞歴	なし	
主な担当科目	基礎ゼミナール、見学実習			
所属学会	日本運動器理学療法学会（平成28年2月～現在に至る） 日本スポーツ理学療法学会（平成28年2月～現在に至る） 日本筋骨格系徒手理学療法研究会（令和元年6月～現在に至る）（評議員 令和3年8月～現在に至る（理事就任まで））（理事 令和4年就任予定） IFOMPT (The International Federation of Orthopaedic Manipulative Physical Therapist: 国際整形徒手理学療法士連盟) 会員（平成29年4月～現在に至る） JFOMPT (The Japanese Federation of Orthopaedic Manipulative Physical Therapist: 日本整形徒手理学療法士連盟) 会員（平成29年4月～現在に至る）			

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
客観的臨床能力試験（OSCE）の導入 （岐阜保健短期大学 リハビリテーション学科 理学療法学専攻の講師として「臨床実習I」において）	平成29年4月	（1）実践例の具体的内容 臨床実習2ヶ月前にOSCEの試験課題を提示し、臨床実習の目的に沿った、見学において学ぶチーム医療に関する医学用語に関する筆記試験と礼節や見学時の患者対応に関する実技試験を臨床実習前に実施し、学生にフィードバックを与えた。 （2）当該教育方法を実践したことの効果 臨床実習地より、学生の不適切な言動が減少したと評価を受けた。
国家試験対策としての勉強会 （岐阜保健短期大学 リハビリテーション学科 理学療法学専攻3年生を対象として）	平成29年11月	（1）実践例の具体的内容 担当クラスが3年次の際、国家試験対策として各学生に約20分間の勉強会講師を担当し、勉強会後にクラス内でのディスカッションを行った。 学生が担当した講義内容はまとめたものを事前に教員がチェック、指導して修正したものを講義した。 （2）当該教育方法を実践したことの効果 理学療法士国家試験合格者は、 平成29年度卒業生：93.8%（新卒の全国平均87.7%） 平成30年度卒業生：94.1%（新卒の全国平均92.8%）
理学療法士国家試験対策としての学習方法指導 （岐阜保健短期大学 リハビリテーション学科 理学療法学専攻3年生を対象として）	平成29年12月～ 令和2年3月	（1）実践例の具体的内容 学内模擬試験の結果を分析した評価表を学生面談時に配布した。 各学生の自己学習ノートとその理解状況を確認し、指導を行った。 （2）当該教育方法を実践したことの効果 本学 理学療法士国家試験合格率が全国合格率を上回ることができた。
成績不良者への学習方法指導 （岐阜保健短期大学 リハビリテーション学科 理学療法学専攻3年生を対象として）	平成29年12月～ 令和2年3月	（1）実践例の具体的内容 学内模擬試験において最も成績が不良であった学生を担当し、学習方法、学習経過を確認しながら指導を実施した。 （2）当該教育方法を実践したことの効果 理学療法士国家試験において合格することができた。

事 項	実 施 年月(日)	概 要
客観的臨床能力試験 (OSCE) に筆記形式の学力試験の追加導入 (岐阜保健短期大学 リハビリテーション学科 理学療法専攻「臨床実習III」および「臨床実習IV」において)	令和元年5月	(1) 実践例の具体的内容 臨床実習2ヶ月前に OSCE の筆記試験課題を提示し、各臨床実習の目的に沿った、試験を臨床実習前に実施した。 (2) 当該教育方法を実践したことの効果 例年よりも学内模擬試験における正答率が上昇した。 自己学習をする学生を学内で見かける頻度が増加した。
骨格筋モデルの作成 (岐阜保健短期大学 リハビリテーション学科 理学療法専攻 夏期セミナーにおいて)	令和元年8月	(1) 実践例の具体的内容 理学療法専攻1年生に対し、前期に学んだ解剖学の復習として骨格モデルに紙で作成した筋を深層筋からつけさせ、筋の起始と停止、構造の学習を実習形式で実施した。完成した骨格筋モデルをもとに触診の実技を行い、筋の走行を学習させた。 (2) 当該教育方法を実践したことの効果 学生の骨格筋に対する知識が歯面状のものではなく、三次元的なイメージとして定着した。 解剖図鑑を再度熟読する頻度が増加した。

◆ 研究業績

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発行・ 発表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称 (会場名)	備 考
著 書	図解 運動療法ガイド	共	平成29年3月	文光堂	編者：内山 靖 分担執筆者：奈良 勲, 内山 靖, 伊橋光二, 木村 雅彦, 松井 一 久, 他 159 名 全 1301 頁中、『筋力増強運動：肩 関節 (肩甲帯)』(173-179 頁) を執筆
	岐阜保健短期大学 入学前教育プログラム：解剖学・生理学基礎 第2版	編	平成29年11月	岐阜保健短期大学教務委員会	編者：池田 雅志, 宇佐美 知子, 松井 一久, 藤井 稚也
	運動学とバイオメカニクスの基礎	共	令和元年9月	南江堂	監訳：黒澤 和生, 赤坂 清和, 河西 理恵 分担翻訳者：河西 理恵, 松井 一 久, 高林 知也, 鈴木 啓介, 城 岡 秀彦, 他 10 名 全 346 頁中、Foundation in Kinesiology and Biomechanics, (著 者:Samuels V, 出版社:F.A. Davis Company, 2017 年出版)内の Structure and function of the shoulder complex を「肩関節複合体の構造 と機能」(153-176 頁) に翻訳。
	理学療法ガイドライン	共	令和3年	医学書院	前 648 頁中、『第5章 頸部機能障 害理学療法ガイドライン』をシス テムティックレビュー班副班長と して執筆
論 文	岐阜保健短期大学, 岐阜県理学療法士会, 体力メンテナンス協会の協働イベント - 「どんと!こいこい祭り 2017」 「ミナモ体操」のアンケートからみる参加者の声, (査読付)	共	平成29年10月	岐阜保健短期大学 紀要 第7号	池田 雅志, 小久保 晃,... 松井 一久 他4名、33-42頁
	回旋筋腱板エクササイズにおける反復回数が肩関節外転筋力に及ぼす影響, (査読付)	共	平成29年10月	岐阜保健短期大学 紀要 第7号	岩島 隆 松井 一久, 小池 孝康, 69-74頁

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称 (会場名)	備 考
論 文	Translational movement within the glenohumeral joint at different rotation velocities as seen by cine MRI, (査読付)	共	平成 30 年 3 月	Journal of Experimental Orthopaedics (RG impact factor 1.75), 第 5 巻 7 号	<u>Matsui K</u> , Tachibana T, Nobuhara K, Uchiyama Y、全 8 頁 (doi: https://doi.org/10.1186/s40634-018-0124-x)
	客観的臨床能力試験導入後の臨床実 習成績の変化：客観的臨床能力試験 導入後の臨床実習成績における差の比 較と分布の比較, (査読付)	共	平成 30 年 4 月	岐阜保健短期大学 紀要 第 8 号	池田 雅志 <u>松井 一久</u> , 小久保 晃 他 4名、37-45頁
	岐阜保健短期大学リハビリテーショ ン学科による企業スポーツへの新た な取り組み：株式会社トーカイ企業 運動会における体力測定, (査読付)	共	平成 30 年 4 月	岐阜保健短期大学 紀要 第 8 号	宇佐美 知子, 池田 雅志,... <u>松井 一久</u> 他 4名、53-62頁
	「三方良し」の理念で行う理学療法啓 発イベント：岐阜県理学療法士会と柳 津町まちづくり協議会の協働事業, (査読付)	共	平成30年12 月	岐阜県理学療法士会 学 術誌第 23 号	池田 雅志, 小久保 晃,... <u>松井 一 久</u> 他 9名、53-56 頁
	どんとこいこい！祭り：平成 29 年と 平成 30 年アンケート結果の比較, (査 読付)	共	平成31年4月	岐阜保健短期大学 紀要 第 9 号	池田 雅志, 小久保 晃, ... <u>松井 一久</u> 他 4 名、37-43 頁
	Normal Glenohumeral Flexion and Abduction for Physical Examination, (査 読付)	共	平成31年4月	岐阜保健短期大学 紀要 第 9 号	<u>Matsui K</u> , Ikeda M, Iwashima T、55 -62 頁
	Kinematic analysis of functional shoulder motion in healthy adults, (査読付)	単	平成31年4月	岐阜保健短期大学 紀要 第 9 号	<u>Matsui K</u> , 63-69 頁
	A verification of motion artifact using cine MR imaging, (査読付)	単	平成31年4月	岐阜保健短期大学 紀要 第 9 号	<u>Matsui K</u> , 70-79 頁
	客観的臨床能力試験(OSCE)における 物理療法課題の成績と学内成績の比 較：OSCE を視野に入れた物理療法学 教育への端緒, (査読付)	共	平成31年4月	岐阜保健短期大学 紀要 第 9 号	池田 雅志, <u>松井 一久</u> , 小久保 晃 他 4 名、86-95 頁
	転倒予防における足部への理学療法 介入効果・持続効果：ランダム比較試 験, (査読付)	共	令和2年1月	岐阜県理学療法士会 学 術誌 第 24 号	安藤 春菜, 川瀬 萌子, <u>松井 一 久</u> , 7-11 頁
	立位バランス改善のための運動療法 の介入効果-座位での肩甲骨・骨盤 PNF アプローチの活用-, (査読付)	共	令和 2 年 1 月	岐阜県理学療法士会 学 術誌 第 24 号	岩島 隆, <u>松井一久</u> , 小池孝康 他 4 名、21-24 頁
	足趾に対する運動療法の違いによる 立位バランスの改善効果, (査読付)	共	令和2年1月	岐阜県理学療法士会 学 術誌 第 24 号	高橋 孝毅, 小田切 柁, <u>松井 一 久</u> , 31-34 頁
	垂直跳躍における足関節の跳躍高へ の寄与, (査読付)	共	令和2年1月	岐阜県理学療法士会 学 術誌 第 24 号	山内 隆, 小林 大悟,... <u>松井 一久</u> , 他 1 名、35-38 頁
	就労者の運動習慣, 身体活動量, 座位 行動と体力測定結果との関連性, (査 読付)	共	令和 2 年 1 月	岐阜県理学療法士会 学 術誌 第 24 号	小池 孝康, 宇佐美 知子, ... <u>松 井 一久</u> 他 3 名、47-52 頁
理学療法学学生による関節可動域計 測の信頼性と再現性, (査読付)	共	令和2年1月	岐阜県理学療法士会 学 術誌 第 24 号	<u>松井 一久</u> , 池田 雅志, 小池 孝 康, 53-55 頁	
経皮的電気刺激療法 (TENS) におけ る痛覚変化の年齢による相違	共	令和 2 年 1 月	岐阜県理学療法士会 学 術誌 第 24 号	池田 雅志, 小島 誠, ... <u>松井 一 久</u> 他 3 名、68-71 頁	

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称 (会場名)	備 考
論 文	一定量知覚針を用いた除痛効果の比較 (査読付)				
論文 (続き)	本学在学生の自我構造と臨床実習前後におけるストレス対処行動について, (査読付)	共	令和2年1月	岐阜県理学療法士会 学術誌 第24号	岩島 隆, 池田 雅志,...松井 一久 他3名, 83-87頁
	物理療法における客観的能力再試験 温熱療法課題の客観的臨床能力再試験と臨床実習II (評価) との関係 (査読付)	共	令和2年1月	岐阜県理学療法士会 学術誌 第24号	池田 雅志, 松井 一久, 小島 誠 他5名, 88-93頁
	The quantitative analysis of anterior humeral translation in various glenohumeral positions, (査読付)	単	令和2年1月	岐阜保健大学紀要, 第2巻,	<u>Matsui K</u> , 54-58頁
	Muscle onset timing of deltoid and rotator cuff muscles in Normal Shoulder Movements, (査読付)	共	令和2年1月	岐阜保健大学紀要, 第2巻	松井 一久, 池田 雅志, 岩島 隆, 59-63頁
	2ステップテストおよび立ち上がりテストの結果に基づくミナモダンスの効果 -3年間の資料からみるロコモティブシンドローム・啓発イベント-, (査読付)	共	令和2年1月	岐阜保健大学紀要, 第2巻	池田 雅志, 小島 誠, ...松井 一久 他3名, 154-159頁
	The immediate effect of neuromobilisation in stage 2 idiopathic adhesive capsulitis: a preliminary study, (査読付)	共	令和2年12月	Journal of Asian Orthopedic Manipulative Physical Therapy, vol. 1	<u>Matsui K</u> , Tachibana T, 37-44頁
学位論文	The quantitative analysis of the humeral translation at different rotational velocities: synchronizing with cine MRI and video camera to identify the shoulder rotation angle	単	平成30年9月	名古屋大学大学院 博士論文	<u>Matsui K</u> , 全56頁
学会発表	The ratios of rolling and sliding movements of humeral head during axial rotation in the dynamic glenohumeral instability using real-time cine MRI, (口頭発表)	共	平成29年5月	第52回 日本理学療法学会大会 (幕張メッセ国際会議場/国際展示場/東京ベイ幕張ホール)	<u>Matsui K</u> , Tachibana T, Nobuhara K, 他1名, 抄録44頁に演題名のみ掲載
	本学在学生の自我構造と臨床実習前後におけるストレス対処行動について, (口頭発表)	共	平成31年2月	第29回岐阜県理学療法学会 (各務原市民会館、各務原市中央ライフデザインセンター)	岩島 隆, 宇佐美 知子,...松井 一久, 他5名.
	学内での OSCE 実施が臨床実習に及ぼす影響 ~臨床実習終了後の実習振り返りシートから見た新たな課題・目標設定について~, (口頭発表)	共	平成31年2月	第29回岐阜県理学療法学会 (各務原市民会館、各務原市中央ライフデザインセンター)	小久保 晃, 松井 一久, 小池 孝康, 他5名
	The Immediate Effect of Neuromobilisation in Patients with Idiopathic Adhesive Capsulitis: a Preliminary study, (口頭発表)	共	令和元年9月	Asian Confederation of Orthopaedic Manipulative Physical Therapy Congress (東京 首都大学東京)	<u>Matsui K</u> , Tachibana T

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称 (会場名)	備 考
学会発表				荒川キャンパス)	
	健常成人の足指把持筋力 ～就労者 を対象とした年代、性別比較と身体機 能との関連～	共	令和2年2月	第30回岐阜県理学療法学会 会 (中部学院大学)	小池孝康、宇佐美知子、藤井稚也、 小島誠、廣渡洋史、 <u>松井一久</u> 、他5 名、60頁